

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成30年2月22日(2018.2.22)

【公表番号】特表2017-507117(P2017-507117A)

【公表日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-011

【出願番号】特願2016-546462(P2016-546462)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/12	(2006.01)
A 6 1 K	38/00	(2006.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	16/28	(2006.01)
C 0 7 K	14/025	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)
C 0 7 K	16/18	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 K	47/42	(2017.01)
A 6 1 K	47/50	(2017.01)
A 6 1 K	39/39	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/12	
A 6 1 K	37/02	Z N A
C 1 2 N	15/00	A
C 0 7 K	16/28	
C 0 7 K	14/025	
C 0 7 K	19/00	
C 0 7 K	16/18	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 K	47/42	
A 6 1 K	47/48	
A 6 1 K	39/39	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 K	39/395	C
A 6 1 K	39/395	L

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月12日(2018.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

抗C D 4 0 抗体、又は抗C D 4 0 抗体の重鎖及び軽鎖の各々に由来する少なくとも3つの相補性決定領域を含むその断片と、少なくとも1つのペプチドリンカーと、少なくとも1つのヒトパピローマウイルス(H P V)E 6 又はE 7 抗原とを含む融合タンパク質であ

って、前記少なくとも 1 つの H P V E 6 又は E 7 抗原が、H P V 1 6 型又は H P V 1 8 型抗原である、前記融合タンパク質。

【請求項 2】

抗 C D 4 0 抗体又はその断片がヒト化されている、請求項 1 に記載の融合タンパク質。

【請求項 3】

少なくとも 1 つのペプチドリンカーが、1 又は 2 以上のグリコシル化部位を含む、請求項 1 又は 2 に記載の融合タンパク質。

【請求項 4】

少なくとも 1 つのペプチドリンカーが、配列番号 5 のアミノ酸配列からなる F 1 e x v 1 及び / 又は配列番号 6 のアミノ酸配列からなる f 1 である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の融合タンパク質。

【請求項 5】

少なくとも 1 つの H P V E 6 又は E 7 抗原が、E 6 及び E 7 である、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の融合タンパク質。

【請求項 6】

配列番号 1 9 のアミノ酸配列を含む、請求項 5 に記載の融合タンパク質。

【請求項 7】

配列番号 2 1 のアミノ酸配列を含む、請求項 5 に記載の融合タンパク質。

【請求項 8】

少なくとも配列番号 1 1 ~ 1 3 及び / 又は配列番号 1 4 ~ 1 6 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 に記載の融合タンパク質。

【請求項 9】

請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載の融合タンパク質を作製する方法であって、前記融合タンパク質を発現する組換え宿主細胞から、前記融合タンパク質を単離するステップを含む、前記方法。

【請求項 10】

抗 C D 4 0 抗体、又は抗 C D 4 0 抗体に由来する少なくとも 6 つの相補性決定領域を含むその断片と、少なくとも 1 つのペプチドリンカーと、少なくとも 1 つのヒトパピローマウイルス ( H P V ) E 6 又は E 7 抗原とを含む樹状細胞ターゲティング複合体を含む、患者において少なくとも 1 つの H P V エピトープに対する免疫応答を誘導するための組成物であって、前記少なくとも 1 つの H P V E 6 又は E 7 抗原が、H P V 1 6 型又は H P V 1 8 型抗原である、前記組成物。

【請求項 11】

抗 C D 4 0 抗体又はその断片が、抗 C D 4 0 抗体の軽鎖可変領域及び抗 C D 4 0 抗体の重鎖可変領域を含む、請求項 1 0 に記載の組成物。

【請求項 12】

抗 C D 4 0 抗体又はその断片がヒト化されている、請求項 1 0 に記載の組成物。

【請求項 13】

少なくとも 1 つの H P V E 6 抗原が、H P V 1 6 型抗原であり、少なくとも 1 つの H P V E 7 抗原が、H P V 1 6 型抗原である、請求項 1 0 ~ 1 2 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 14】

少なくとも 1 つの H P V E 6 抗原が、H P V 1 8 型抗原であり、少なくとも 1 つの H P V E 7 抗原が、H P V 1 8 型抗原である、請求項 1 0 ~ 1 2 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 15】

少なくとも 1 つの H P V E 6 抗原が、H P V 1 6 型抗原であり、少なくとも 1 つの H P V E 7 抗原が、H P V 1 6 型抗原であり、少なくとも 1 つの H P V E 6 抗原が、H P V 1 8 型抗原であり、少なくとも 1 つの H P V E 7 抗原が、H P V 1 8 型抗原である、請求項 1 0 ~ 1 2 のいずれかに記載の組成物。

**【請求項 1 6】**

樹状細胞ターゲティング複合体が、配列番号 1 9 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 3 に記載の組成物。

**【請求項 1 7】**

樹状細胞ターゲティング複合体が、配列番号 2 1 のアミノ酸配列を含む、請求項 1 4 に記載の組成物。

**【請求項 1 8】**

組成物が、アジュバントをさらに含む、請求項 1 0 ~ 1 7 のいずれかに記載の組成物。

**【請求項 1 9】**

患者が、別個の H P V ワクチンを投与された患者である、請求項 1 0 ~ 1 8 のいずれかに記載の組成物。

**【請求項 2 0】**

別個の H P V ワクチンが、Gardasil (商標) 又はCervarix (商標) である、請求項 1 9 に記載の組成物。

**【請求項 2 1】**

抗 C D 4 0 抗体、又は抗 C D 4 0 抗体に由来する少なくとも 6 つの相補性決定領域を含むその断片と、少なくとも 1 つのペプチドリンカーと、少なくとも 1 つのヒトパピローマウイルス (H P V) E 6 又は E 7 抗原とを含む樹状細胞ターゲティング複合体を含む、H P V 関連疾患者を処置するための組成物であって、前記少なくとも 1 つの H P V E 6 又は E 7 抗原が、H P V 1 6 型又は H P V 1 8 型抗原である、前記組成物。